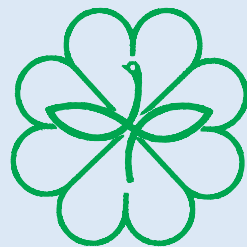


ほっとinみえ



Vol.49

- 第16回三重県民生委員児童委員大会
- 令和6年度 災害に備える民生委員・児童委員活動に関する研修会
- なりて不足に対応した取り組みと課題・参考事例
- 民生委員・児童委員活動記録の収集について
- 各民児協の活動事例「津市100周年記念事業」
- 見聞録／東紀州こどもの園(熊野市)
- 編集後記



三重県民生委員児童委員協議会HP
(ほっとinみえのバックナンバーも見られます)



©三重県観光連盟



冊子内のQRコードを読み込んでいただくと
動画や関連サイトをご覧ください。

※QRコードに対応する機器のみ読み取りができます。
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

表紙写真

志摩市 大慈寺



第16回三重県民生委員児童委員大会

3年に一度、改選年度に開催される三重県民生委員児童委員大会が、1000名を超える出席のもと、盛大に行われました。大会では、長年委員活動に励んでこられた方々を表彰し、その尽力が称えられました。また、民生委員信条の朗読と、大会宣言の採択が行われ、地域住民の抱える課題がより複雑多様化する中で、今後の委員活動をさらに充実させるため、委員同士の結束を図りました。

●日時 令和7年5月20日（火）13時15分開会

●場所 三重県総合文化センター 大ホール



三重県民生委員児童委員協議会
会長表彰
被表彰者705名
～おめでとうございます～

大会宣言

近年、深刻な少子化や高齢化、情報社会の進展に伴い、人間関係が希薄化し、複合的な課題を抱え地域で孤立している世帯が増えています。そのなかで、民生委員・児童委員は常に地域住民に寄り添いながら活動を行っており、その重要性はますます高まっています。

一方で、民生委員・児童委員のなり手不足は大きな課題となっており、継続した委員活動のための環境整備にむけて、行政をはじめとする関係者と力を合わせて取り組んでいくことが求められます。

また、昨年には、能登半島地震や豪雨災害等さまざまな災害が発生し、全国各地で多大な被害をもたらしました。災害に備えた活動には、地域住民と信頼関係の形成が重要であり、地域に根ざしたさらなる取組みを進めていくことが必要です。

本日、私たち民生委員・児童委員は、第16回三重県民生委員児童委員大会を開催するにあたり、強い決意のもと、同じ地域で暮らす人々が孤立することのないよう、世代や属性に関わらず、日々の見守りや相談活動を重ねるとともに、関係機関とさらなる連携強化を図り、誰もが安心して暮らすことができる地域共生社会づくりに努めていくことを、ここに宣言します。

令和7年5月20日

第16回三重県民生委員児童委員大会

12:15	13:15						14:20	14:40		15:40	15:45
受付	開会	物故者慰霊 黙祷	民生委員 信条朗読	主催者挨拶	顕彰	来賓挨拶 来賓紹介	大会宣言	休憩	基調講演	閉会	

基調講演

「ワンぽていから広がる、誰もが自分らしく
生きられる社会へ ～15分雇用の可能性～」

●講師 ワンぽていと代表 小栗 加奈 氏

「すべての若者に居場所と出番を」というコンセプトのもと、15分単位の超フレックスタイム制を導入した社会復帰支援カフェレストランは、若者たちの社会復帰への不安を軽減し、自信を積み重ねることをサポートしています。日々の声かけや小さな行いが誰かの大きな一歩となり、民生委員・児童委員も地域の「とまり木」という言葉が印象に残りました。



Scan Me

ワンぽていとHP



令和6年度 災害に備える 民生委員・児童委員活動に関する研修会



- 日時 令和7年3月21日(金) 13:30～15:00
- 場所 三重県総合文化センター 小ホール
- 登壇者
珠洲市民生委員児童委員協議会
会長 若山 博行 氏 (オンライン)
珠洲市社会福祉協議会 神徳 宏紀 氏
合同会社HUGKUMI 代表社員 長井 一浩 氏

三重県において発生する可能性の高い大規模災害に備え、日頃、地域で活動する我々にどのような取り組みが求められるのかを、昨年度に引き続き珠洲市の民生委員児童委員協議会と社会福祉協議会から講師を招き、令和6年能登半島地震を経験された報告から、災害時の実際の活動やその課題、民生委員・児童委員における災害との向き合い方等について、あらためて考え直す機会となりました。



研修では、過去数年にわたる地震や豪雨災害などで経験されたことや、被災してはじめて分かったことなど、多岐にわたって丁寧に報告・解説をしていただきました。

被災した時点で、全ての住民が被災者となり、まずは一人ひとりが避難し、生き残ることから始まり公的機関の職員も被災者となっているため手が回らず、避難所の運営は住民自身で行わなければならなかったり、安否確認も通信手段が絶たれている状態では時間がかかったことなど、想定外の連続で本当に大変だったのだと実感しました。

民生委員・児童委員だから“**何かをしなければいけない**”ことではありません。まずは、避難し、生き延びることを優先し、余裕ができてから民児協内での安否確認や会議というフローを事前に共有しておきましょう。珠洲市で安否確認のために一番早く定例会を開催できた民児協(海から遠く比較的被害が少なかった民児協)でも1か月半を要したとのことでした。

災害は被災地の住民だけで乗り越えられません。他地域からの支援が必須となります。支援者の力を借りて復旧・復興となりますので、日頃の近隣地域とのつながりも大切になってくるのではないのでしょうか。

令和6年奥能登豪雨 見舞金を贈呈しました



令和6年9月に発生した奥能登豪雨では、元日の地震で甚大な被害を受けた能登半島に記録的大雨が襲い、復興途上にあった被災地域での暮らしが再び脅かされる状況になりました。

被災地域の一日も早い復旧・復興を願うとともに、被災された方々を支援するため、県内の民生委員・児童委員から募った見舞金(義援金)総額188万円を、三重県民児協：山本会長より珠洲市民児協へ贈呈しました。

ご協力いただき、ありがとうございました。

なりて不足に対応した取り組みと課題・参考事例

課 題

今年は民生委員・児童委員一斉改選の年です。民生委員・児童委員といえば、会社を退職され、比較的自由な時間をもたれている65歳以上の方が大半を占めているのが現状です。

しかし、民生委員・児童委員の中には、20代や30代の方も県内で活躍されています。どうすれば、若い世代に委嘱することができるのでしょうか。課題として、まず、昼間に研修会、定例会がある。県主催の研修会、市町主催の研修会、単位民児協主催の研修会と、研修会の回数が多いことも課題の1つです。取り組みとして、研修会の数を減らすことや、夕方や夜の時間帯の研修会・定例会も増やしていくことも1つの案です。

民生委員・児童委員はつなぎ役ですが、責任の重さへの負担もあります。負担を軽減する対策をしなければ、なりて不足解消にはならないと言えます。

事例①

■ インタビュー「企業の福祉活動への理解」（40代男性）

私の場合は、自治区内の退任者と役場の福祉課課長が来訪され、民生委員・児童委員の後任を打診されましたが、会社員であるため会社に相談をしたところ、無償のボランティアは副職には該当せず、社会貢献活動ということで評価してもらえ、会社が背中を押してくれました。

また、自治区長職を経験していながら、民生委員・児童委員に見識がなかったことや、地域住民へどんな活動内容をしているのかを伝えていくことも大切だと思い、打診を受諾しました。

私の所属する単位民児協では、定例会や研修会などを平日に開催しますが、事前に勤務日程をコントロールしやすい職場であるために、有休や半休などを効率的に利用し、出席しています。

事業所内で民生委員・児童委員になった事例1号でしたから、気にかけてもらえているようで、定例会日（毎月第3木曜日13:30～）に有休届を出し忘れていると、会社の方から「忘れてない？」と確認されることもあります。

今後、県やブロックの行事、単位民児協の定例会などを、就業時間後の時間帯に開催してもらえると、共働きが多い次世代からも人選ができるような気がします。



事例②

■ 単位民児協の活動見直し

私達の単位民児協では、仕事をしている方も多く、研修会への参加者も年々減少していることを踏まえ、研修会を年6回から年4回に削減しました。1回の研修内容の充実に取り組み、研修会参加の負担軽減を図ることで、活動の主となる「見守り活動」に力を入れていただけるようにしました。

民生委員・児童委員活動記録の収集について

<活動記録の意義と活用>

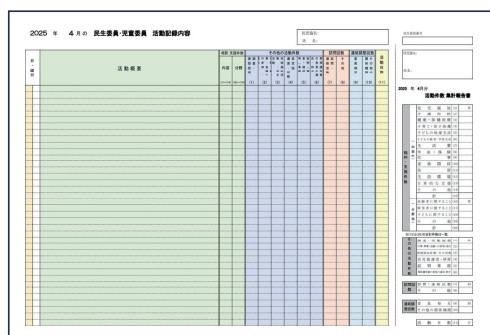
活動記録は、厚生労働大臣の委嘱を受けた民生委員・児童委員が、具体的にどのような活動を行っているかを記録し、国に報告するものであり、民生委員・児童委員としての責務の一つです。

全国約23万人の活動記録を集計・分析することで、民生委員・児童委員活動の現状を明らかにするとともに、国民が直面している福祉課題、生活課題を明らかにすることに役立っています。

活動記録の記入、集計における負担軽減の観点から、取り組み例をご紹介します。各市町、地区民児協の判断によりご活用ください。

1. 民生委員・児童委員活動記録様式Excelシートの活用

全民児連ホームページに、以下のExcelシートが掲載されています。



パソコンを使い慣れている方にはお勧めです。

- 手書きで長文を書くのは大変。
手書きから入力に変えると内容を細かく記録することも容易です。
- 予定カレンダーに活動内容を入力しておけば、まとめて記録作成も苦になりません。

2. みえ民生委員支援ネットワークの活用

県で構築したネットワークを活用し、活動件数の入力ができます。

現在、県内3市5地区民児協の皆様にご利用いただいています。



※専用ページへのログインには登録が必要です。

活用している方の声



- タブレットやスマホから活動件数の入力/集計ができ、紙の集計報告書を提出する手間が省ける。(委員)
- 各委員からの集計報告のまとめ作業が軽減された。(会長)
- 会長他へ案内や連絡等をサイトから周知できる。(事務局)

3. 民児協独自の集計システムの活用

民生委員・児童委員の活動の負担を軽減するため、市の電子申請システム(ロゴフォーム)を活用した活動記録の報告をインターネットで提出できるようにしました。

民生委員・児童委員に各個人のIDとパスワードを配布し、それを使用しての登録となります。令和5年5月1日から使用開始し、約半数が利用しています。(松阪市)

各民児協の活動事例「津市100周年記念事業」

津市民生委員制度 創設100周年記念式典



津市民生委員児童委員連合会
会長 岡 恒文 氏

津市の民生委員制度の歴史は、大正13年(1924年)に10名の方面委員が市長から委嘱されたことに始まり、地域の福祉を支える重要な役割を果たしてきました。現在、津市では約580人の委員が市内で活躍し、100周年を迎えることができました。記念すべき100周年を節目に新たなスタートを切ると共に令和7年12月の委員改選を控え、ますます民生委員・児童委員の存在と活動を一人でも多く知っていただくことを願って、幾つかの広報活動と100周年記念式典を開催しました。

開催日 ● 令和7年1月26日

場 所 ● 三重県総合文化センター 中ホール

第1部

最優秀賞



- 1 オープニングセレモニー
(津市立養正小学校金管バンドクラブ)
- 2 開会の辞
- 3 信条朗読
- 4 主催者挨拶
- 5 来賓祝辞
- 6 ポスターコンクール表彰式

〈表彰式〉



〈入賞者の皆さん〉



津市版
ミンジー誕生



第2部 民生委委員・児童委員活動の紹介

- 1 民生委員・児童委員のあゆみと活動紹介
- 2 47年活動委員からの活動報告
- 3 特色のある民生委員児童委員協議会活動報告
- 4 エンディングセレモニー(津市立東橋内中学校吹奏楽部)
- 5 閉会の辞

「47年間の民生委員活動報告」 敬和地区民生委員児童委員協議会 会長 丸橋 恒子 氏

長く民生委員をやっておりますと、個々の相談対応で苦労したことなど、たくさんの出来事がありましたが、多くの方々から「ありがとう」の言葉をいただいたことが、私の人生の財産となっています。



平成30年
瑞宝双光章 受章

1. 出前授業

市内の各小学校で民生委員・児童委員活動への理解を高めることを目的として出前授業を実施しました。

市内46校／実施学年：5年生・6年生

- 授業内容は単位民児協に一任し、各民児協は授業方法の検討と授業ツール（プレゼンテーション資料）の準備を行い、「いざ！本番！」に臨みました。
- 民生委員について、どれだけ児童の皆さんに伝わるか、不安もありましたが、貴重な45分間を提供いただき、好評に終えることができました。
- 児童から笑いやウケもあり、終始和やかな雰囲気です。委員を紹介すると「うちのお爺ちゃんが民生委員？」の声も上がり、大爆笑でした。



2. 民生委員・児童委員ポスターコンクール

市内50校の各小学校を対象にポスターコンクールを実施しました。出前授業を受けてもらった児童へ、夏休みを活用して民生委員・児童委員のPRポスターを募集しました。



【優秀賞】

想定外の応募数となり、選考委員もビックリ！
涙の選考でした。

応募総数・・・366点

入賞・・・11点

最優秀賞 優秀賞 アイデア賞

デザイン賞 アピール賞 ほのぼの賞

入選・・・53点



【優秀賞】

3. 「津まつり」における啓発活動の実施

津まつりでは、民生委員・児童委員キャラクター「ミンジー」の等身大パネルを展示、主任児童委員による風船造形、PRポケットティッシュ配布などで訪れた方へ民生委員・児童委員の存在と活動をPRしました。





東紀州こどもの園 (熊野市)



東紀州こどもの園

住所：三重県熊野市金山町字新大谷2392番地3

電話：0597-80-0180



Scan Me

エレコム社の
トピックページ



Scan Me

中京テレビNEWS
(ZIP! CHUKYO)



津市の主任児童委員部会の研修として、熊野市の東紀州こどもの園を訪ねました。

熊野市出身のエレコム社会長が地元のためにと多額の資金を寄付された思いに心を打たれました。

児童養護施設としては東紀州で初めてであり、果たすべき役割は大きいと思います。「児童家庭支援センターきしゅう」を併設、保護者の相談、関係機関との連携の場としても活用されており、地域の拠点として今後の活動に期待できると思います。

児童養護施設「さくら」では家庭的養育が行われており、現在は4名を受け入れています。ショートステイ用(DV等からの緊急避難用も兼ねる)の建物もあり、その定員も4名と少人数ではありますが、子どもを大切にしたいという方針を感じました。

児童養護施設は、保護者が子どもを養育できなくなった場合に子どもを預かる施設ですが、近年、子どもの虐待は増加の一途をたどっており、傷ついた子どもたちを救い、預かるという使命に心から応援したいと思います。

訪ねた日は天気もよく、澄み切った青空に建物がマッチしてとてもきれいで、熊野の木材をふんだんに使った建物とデザインに圧倒されました。室内はヒノキの香りがすがすがしく、木材の落ち着いた雰囲気を感じられ、大変過ごしやすい環境です。

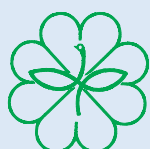
センター長さんのお話はとてもあたたかく、大きな愛と恵みを感じました。児童養護施設としての役割について、また子どもへの心配りや苦勞されていることも聞かせていただき、私たちも児童養護(虐待防止や虐待の子どもの発見)についてもっと取り組んでいかなければならないと、強く思いました。

(津市民生委員児童委員連合会 主任児童委員部会)

編集後記

本号がお手元に届く頃には、改選への準備がかなり進んでいると思います。

街に民生委員・児童委員がいなくても、住みやすい世の中になれば、なりて不足に悩まなくても良いのでしょうか、残念ながら自治区や町づくりも青息吐息のところが多いようです。私たちが後世にバトンタッチしていくためには、「パイプ役」という原点に立ち返り、活動のスリム化や効率化を行う時期なのだと感じます。



ほっと in みえ 第49号(2025年6月30日発行)

発行者:三重県民生委員児童委員協議会(広報啓発委員会)

事務局:三重県社会福祉協議会内 TEL. 059-227-5145 FAX. 059-227-6618